

【学校教育目標】「笑顔いっぱいの学校づくり」

～温かい心で認め合い、励まし合い、支え合う子どもの育成を目指して～

鬼塚小学校便り No.11

令和5年7月20日発行

文責 校長 市丸 明彦



モア スマイル



1学期間、ご支援ありがとうございました

今日は、令和5年度1学期の終業の日です。

保護者の皆様、地域の皆様には、本校の教育活動に対し、様々なご協力、ご支援をいただきました。どうもありがとうございました。

2学期も引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

今日の終業式では、まず、全校のみんなが「笑顔づくり」のために、勉強や運動、遊び、友達との関係づくり等で頑張ったことを褒めました。次に、夏休み中に頑張ってもらいたい『お手伝い』について話しました。「やらされる」という意識ではなく、家族の一人として「自分なりにできること」をまずはやってみるという気持ちで取り組んでみようと話しました。どんなことでもいいので、お子さんと話し合っ、ぜひ1つは何かお手伝いができるようにしてみてください。そして、それができたら褒めましょう。頼りにしましょう。褒められると、絶対嬉しいはずですよ。

ちょっとしたきっかけで子ども達はどんどん成長します。私達大人のかかわり次第です。35日間の夏休み。もし、35日間、何か続けられたら、とてもすごいことです。続けられなくても、励まして、褒めましょう。

夏休みは、子ども達が大きく成長できる良い機会です。充実した夏休みになるよう、よろしくお願いいたします。

終業式

体験を通して思うこと

6日、4年生が唐津工業高校の生徒と木工体験の交流をしました。初めて使う道具に戸惑いながらも、優しい高校生の指導もあり、全員が上手に体験しました。

中には、「将来は工業高校に行きたい！」と言う子もいて、これからも物づくりの楽しさを味わってほしいと思います。

13日、6年生が車いすバスケット元日本代表の「根本慎二」さんから車いすバスケットを教えていただきました。体育好きの私も参加しました。車いすの操作は難しかったのですが、みんなの応援があって、楽しい時間を過ごせました。

「何事にもチャレンジして、経験すること」は大事です。チャレンジしなければ、成功や失敗もありません。この夏、お子さんと一緒に何かチャレンジしてはいかがでしょうか？



この夏、お子さんと一緒に何かチャレンジしてはいかがでしょうか？